

所属	心理学研究科 臨床心理学専攻 修士課程	修了年度	2025 年度
氏名	島田 聡花	指導教員 (主査)	杉本 希映教授

論文題目	大学生における消化器症状に特異的な不安と不登校傾向との関連 ——行動抑制システムからの検討——
------	--

本文概要
【問題と目的】過敏性腸症候群（Irritable Bowel Syndrome：以下 IBS）とは、消化管の運動異常や内臓知覚過敏を特徴とする機能性消化管疾患であり、器質的な異常が認められないにも関わらず慢性的な腹痛や便秘異常をきたす（Ford et al., 2020；田山, 2025）。大学生の IBS 有症状者はストレスに対して優先的に回避行動を選択することで消化管症状の出現を避けていることが明らかとなっている（西郷, 2019）。IBS への回避的な対処行動として不登校が挙げられ、IBS 症状を有する女子大学生は、3 日以上欠席するリスクが 1.8 倍高いことが明らかにされている（Chen et al., 2021）。また、不登校を深刻化させないための予防的観点からは、不登校傾向についても着目されてきている（川上, 2024）。IBS においては、消化器症状に特異的な不安（Gastrointestinal-Specific Anxiety：以下 GSA）が影響要因としてあるとされる。GSA とは、「消化器感覚、症状、およびこれらの内臓感覚や症状が起こる状況に対する恐怖から生じる認知的、感情的、行動的反応」と定義されている（Labus et al., 2007）。大学生を対象とした研究では IBS 群が非 IBS 群より GSA の得点が有意に高いことが示されており、GSA が大学生にとって心理的ストレス要因として作用し消化器症状の悪化につながる可能性があることが示唆されている（Saigo et al., 2014）。不安を規定する要因としては、強化感受性の行動抑制システム（Behavioral Inhibition System：以下 BIS）が考えられ、Katz et al. (2020) が行ったメタ分析では BIS から不安に正の影響があるとするモデルの適合度が最も良かったことが示されている。したがって、GSA においても BIS が一つの素因となっていることが予想される。本研究では、大学生における強化感受性の BIS が GSA を介して不登校傾向に与える効果を検証することを目的とした。 【方法】大学生 293 名をデータ分析の対象とし（$M=19.56$ 歳, $SD=1.22$）、無記名式の質問紙調査を行った。調査項目は、①基本属性：年齢・学年・性別・居住形態・通学時間・春学期の授業欠席回数②IBS 症状：RomeIV 診断基準（Lacy et al, 2016）日本語版（日本消化器病学会, 2023）③GSA：Visceral Sensitivity Index Japanese Version（Saigo et al., 2014, 点数を逆転して使用）④不登校傾向：大学生不登校傾向尺度（堀井, 2013）⑤BIS：BIS/BAS 尺度（高橋他, 2007）のうち下位因子「BIS」であった。 【結果と考察】仮説モデルの検討をパス解析で行ったところ、「BIS」から「GSA」に正の効果（$\beta=.27$, $p<.001$）, 「BIS」から「登校回避感情」に正の効果（$\beta=.22$, $p<.001$）「GSA」から「登校回避感情」に正の効果（$\beta=.13$, $p<.05$）, 「登校回避感情」から「登校回避行動」に正の効果（$\beta=.39$, $p<.001$）, が認められた（AGFI=.971, GFI=.994, CFI=.986, RMSEA=.047, AIC=19.192）。また、IBS 症状の有無による多母集団同時分析を行ったところ、モデルの中のパス係数と分散共分散に等置制約を置いた測定不変モデルの AIC が最も低かった（$\chi^2(9)=8.055$, $p=0.529$, AGFI=.970, GFI=.986, CFI=1.000, RMSEA=.000, AIC=30.055）。これらの結果から、「IBS 症状あり群」と「IBS 症状なし群」でパス係数に有意差は無いことが示された。仮説モデルが支持されなかった理由としては、IBS 症状の有無に関わらず BIS の高さが不安の一種である GSA も高めていること、今回の調査対象者の中には IBS 症状を有していても医療機関を受診していない比較的軽症な大学生が一定数存在したことが考えられる。今後は、IBS 症状の重症度が高い大学生を対象に調査を行うことで、さらに BIS が GSA を介して不登校に与える影響を詳細に検討できるのではないかと考えられる。